

第14回 ふれ愛スタディ in 大空

北海道大空町 人材交流事業



8月1日から5日にかけて、友好町である北海道大空町の中学2年生（東藻琴中学校・女満別中学校）と氷川町の中学2年生15人（氷川中学校・竜北中学校）による人材交流事業が行われました。

この事業は、今年で14回目を迎え、雄大な自然が広がる北海道を舞台に、中学生同士が交流を深め、友好関係の発展に寄与し、併せてまちづくりの担い手を育成することを目的としています。

また、事前に5回の学習会を開催し、北海道や大空町、北方領土問題について学び、研修に臨みました。



▲オシンコシンの滝にて

熊本空港から羽田空港を経由して女満別空港に到着し、まず北海道の真夏日を体感しました。次に向かったのは、オシンコシンの滝。そして世界自然遺産「知床」をクルージング。大自然に触れ、知床峠からは、北方領土の国後島を見ることができました。その後、アイヌ民俗資料館を見学し北海道の歴史と文化に触れました。

大空町では、地元の皆さんに温かい歓迎を受け、保護者を交えた交流会や大橋牧場の見学、乳酪館でのバター作り、網走湖でのカヌーやドラゴンボート体験など大空町の大自然を満喫し、中学生同士の交流が深まりました。



▲アイヌ民族の衣装を試着しました

研修を振り返って・・・
帰町後の8月27日には「ふれ愛スタディ in 大空」の報告会があり、団員は、ホームステイでの出来事やそれぞれの感じた熊本と北海道の文化や生活の違いなど、実際に肌で感じたことを報告しました。

また、班ごとに北海道で学んだことや、大空町で交流したことを発表しました。来年1月には「ふれ愛ス



▲報告会での発表の様子

タディ in 氷川」として大空町の中学2年生が来町され、ホームステイや農業体験などで交流を深める予定です。



▲知床峠にて

「北海道で学んだこと」
 竜北中学校2年 岩本 千尋
 私は、8月1日から5日まで北海道に行き、たくさんのかことを学びました。
 1日目は、オシンコシンの滝に行きました。オシンコシンとは、「川下にエゾマツが群生するところ」を意味するアイヌ語に由来し、流れが二本になっているところから、別名「双美の滝」とも言われ、日本の滝百選に選定されたことを知りました。次に知床峠を見に行きました。知床は、世界自然遺産で、そこからは北方領土である国後島をうつすらと見ることができました。

2日目は、知床クルージングでヒグマやオジロワシなど珍しい生き物を見ることができ、今でも印象に残っています。次に摩周湖に行った後、アイヌ民俗資料館に行きました。そこには400点以上の衣服や生活に関わる道具が展示されていました。アイヌ民俗の衣服は浴衣のような服で、実際に着てみた人もいて、みんな似合っていました。その後、大空町の中学2年生と交流会をしました。クイズを出したり花火をしたりして交流を深めました。最初は緊張したけど、すぐに打ち解けてとても楽しかったです。

3日目は、大空町の中学生と大橋牧場に行き、私は子牛に自分の名前を付けました。嬉しかったです。次に乳酪館でバター作りをし、ホームステイ先に行きました。そこでは、はしごで登らないと乗れないとても大きなコンバインに乗せてもらいました。他にもガラスのキーホルダーを作ったり、流水館で本物の流水を触ったり、花火大会に連れて行ってもらったり貴重な体験をさせてもらいました。

4日目は、網走湖でカヌーとドラゴンボート体験をしました。カヌーは、最初バランスが取れずに転落するかなと思いましたが、どうにかうまく漕ぐことができました。途中でびしょ濡れになり水遊びになっちゃいました。今でも印象に残っていて、5日間が一番の思い出になりました。



▲カヌー体験



「ふれ愛スタディin大空」
 の研修を終えて
 ジュニアリーダー 村上 太陽
 私は、中学2年生の時、氷川町の団員として北海道に行かせて頂きました。当時、研修に行く前からワクワクして、お土産の話や交流会の話で勝手に盛り上がっていました。研修中は、北海道の自然や文化に触れ、多くの体験をさせていただいたことが良い思い出となっています。

そして、今回引率という立場で参加させて頂きました。

第1回目の事前学習会では、自分も中学生も緊張して話す機会がなかったのですが、回を積むごとに打ち解けていき、中学生の方から気軽にいい意味で友達のように話かけてくれたので嬉しかったです。

4泊5日の研修では、初日のオシンコシンの滝や知床峠から見える国後島。また、知床クルージングやアイヌ民俗資料館など北海道の文化や雄大な自然の中で積極的に楽しみながら学習できました。そして、大空町の方々との交流では、みんな笑顔になり、3日間でお別れするのが嫌になるくらい仲が深まった気がします。また、純粋な気持ちで真剣に取り組む中学生の引率が出来てとても嬉しく思います。

今回の「ふれ愛スタディin大空」でお世話になった方々や、5日間行動を共にした15人の団員のお陰で有意義な夏を過ごすことができました。ありがとうございました。

